

介護セミナー2018 アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、介護セミナー2018において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 介護セミナー2018 参加者全員
- 3)調査方法 介護セミナー2018 終了後、アンケート調査票に記入
- 4)実施日 平成30年8月30日(木)

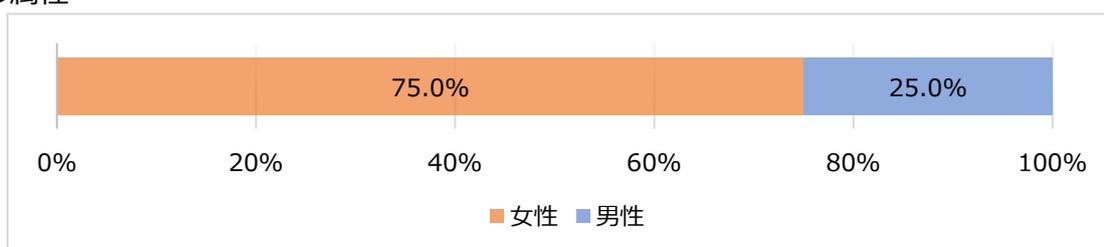
■アンケート集計結果

回答数 対象者 45名、回答者 40名
回答率 88.8%

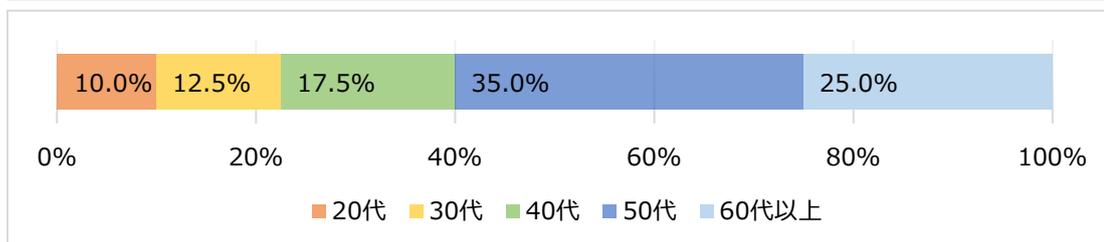
■アンケート調査結果

○回答者の属性

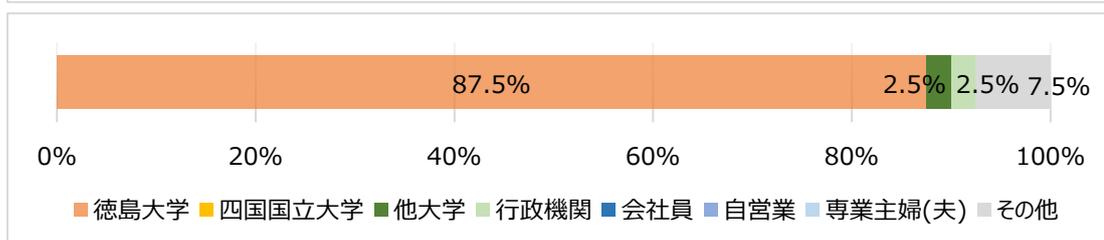
◆性別



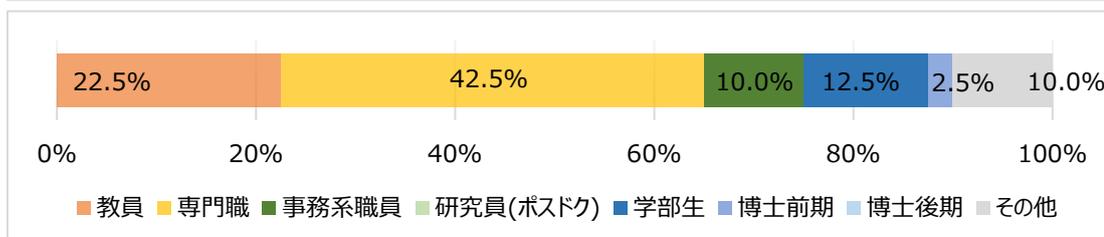
◆年齢



◆所属



◆職種

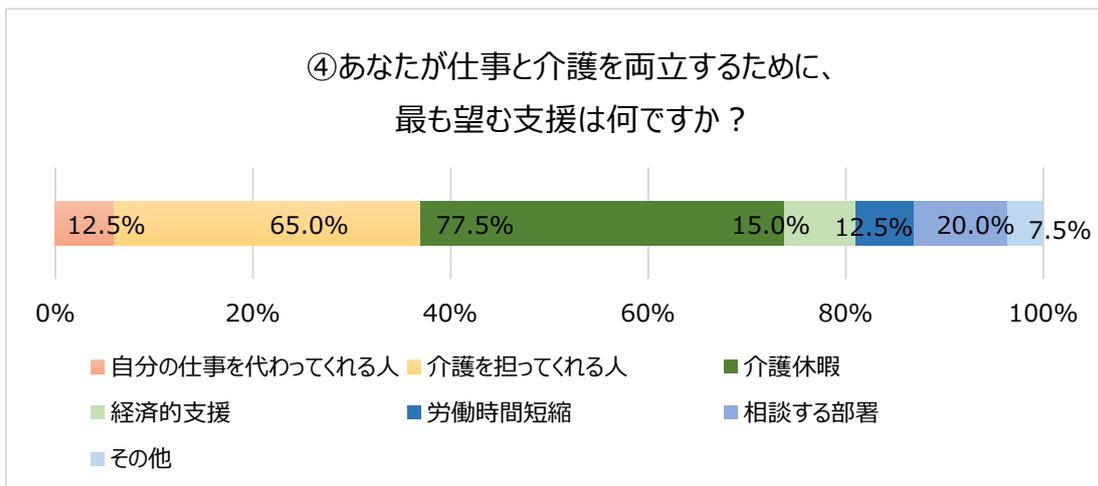
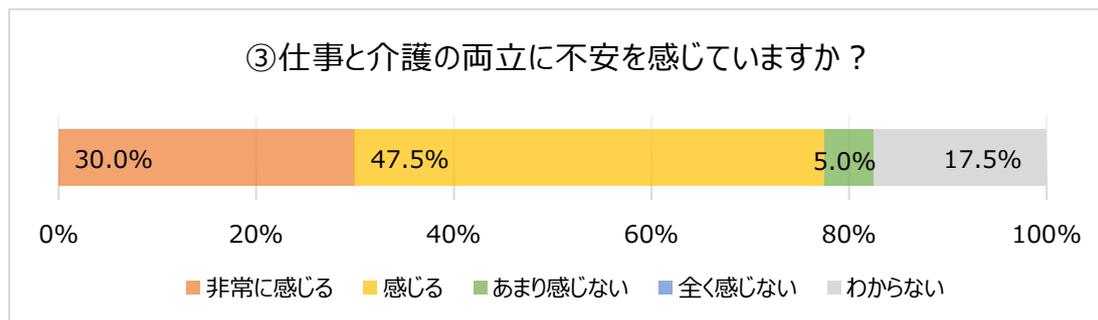
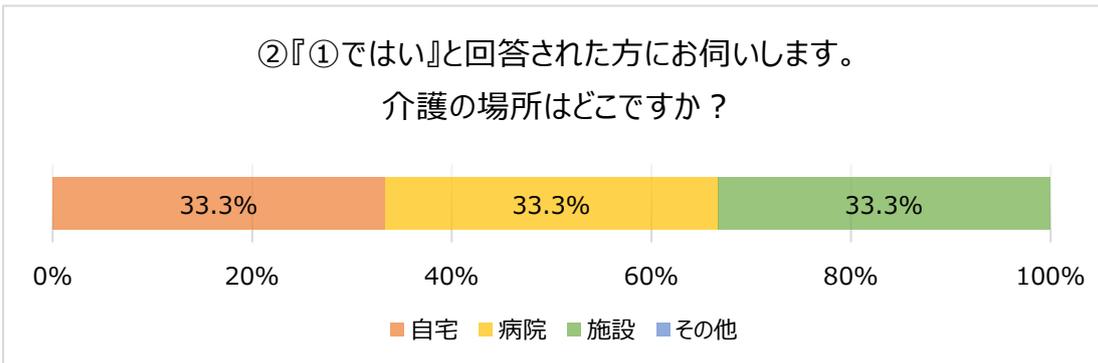


回答者のうち、女性が75%を占めており、年齢は50代以上が60%と多かった。

所属は、徳島大学が87.5%で、他機関等から12.5%の参加があった。

職種は、専門職が42.5%と多く、次いで教員が22.5%、学生の参加が15%であった。

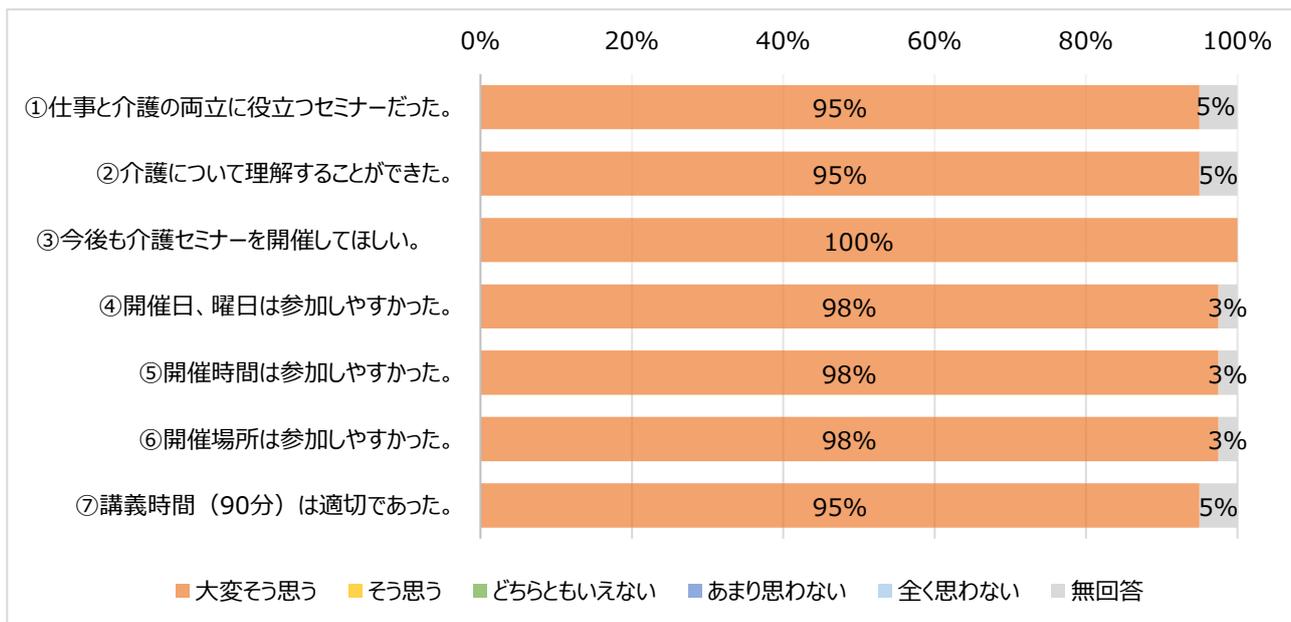
○介護の現状



回答者のうち、介護にかかわっている人は7.5%で、その介護の場所は『自宅』『病院』『施設』ともに2.5%であった。

『仕事と介護の両立に不安を感じていますか』に対して、回答者全体の77.5%が『非常に感じる』『感じる』と回答しており、両立するために最も望む支援は、『介護休暇』が77.5%、『介護を担ってくれる人』が65.0%と高かった。

問 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。

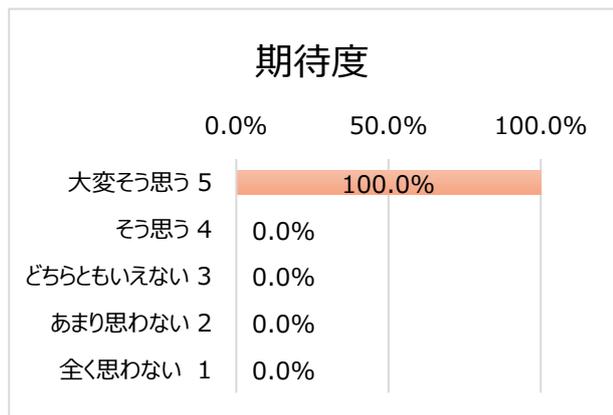


『仕事と介護の両立に役立つセミナーだった』『介護について理解することができた』に対して、95%が『大変そう思う』と回答しており、セミナーへの評価は高かった。

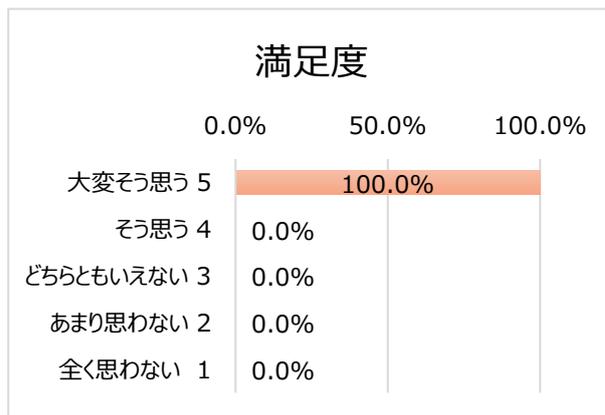
『今後も介護セミナーを開催してほしい』に対して、100%が『大変そう思う』と回答しておりニーズの高いことがわかった。

開催形式については、『開催日、曜日』『開催時間』『開催場所』は『参加しやすかった』に対して、各項目とも98%が『大変そう思う』と回答し、『講義時間(90分)は適切であった』に対して、95%が『大変そう思う』と回答しており、参加しやすい開催形式であったと考えられる。

⑧本セミナーに期待していた。



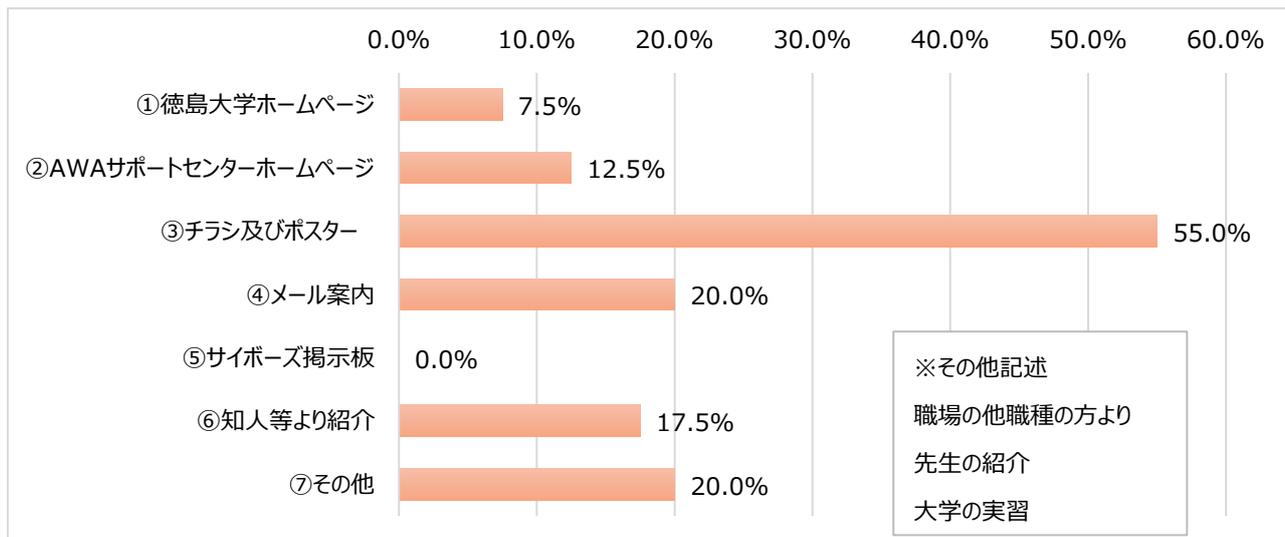
⑨本セミナーは期待どおりだった。



期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、100%が『大変そう思う』と回答しており、期待度は大変高かった。

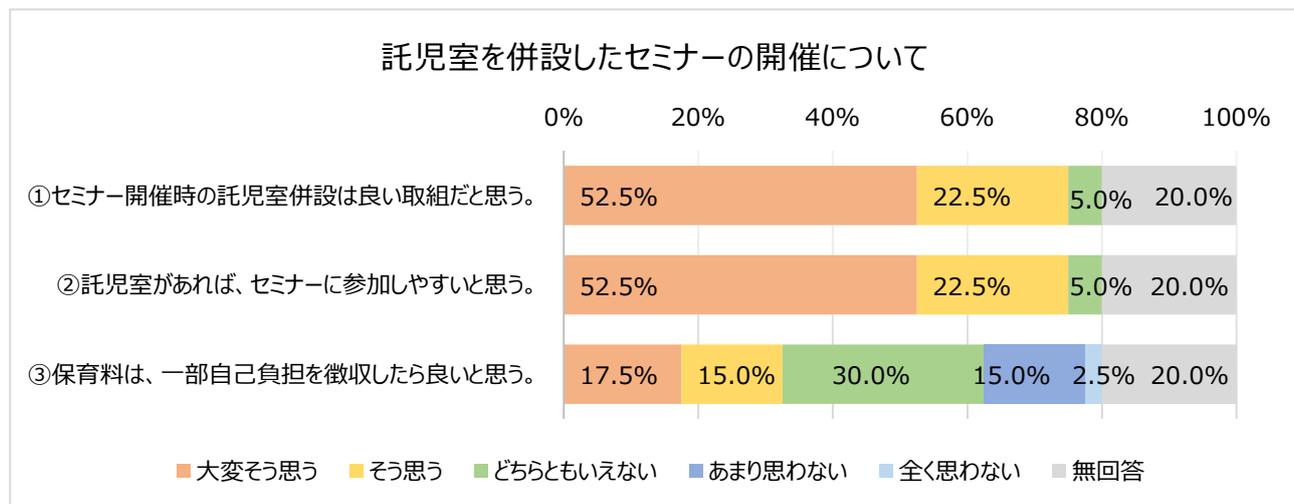
満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、100%が『大変そう思う』と回答しており、セミナーの終了後における満足度も大変高かった。

問 介護セミナー2018の開催はどのように知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。



開催の広報効果については、『チラシ及びポスター』が 55.0%と最も高く、次いで『メール案内』が 20.0%、『知人等より紹介』が 17.5%と高かった。最も効果の低かった周知方法は、『サイボーズ掲示板』で 0.0%であった。

問 託児室（夕方または土日祝祭日開催時）を併設したセミナーの開催についてお伺いします。



『セミナー開催時の託児室併設は良い取組だと思う』に対して、75%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『託児室があれば、セミナーに参加しやすいと思う』に対して、75%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、託児室の併設は有用な取組で、セミナーに参加しやすくなるとの見解が高いことがわかった。

一方、『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、32.5%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、30.0%が『どちらともいえない』、17.5%が『あまり思わない』『全く思わない』と回答しており、保育料の一部自己負担については見解に相違が見られる。